

KYOEI STEEL

# 第73期 株主通信

2016年4月1日 ▶ 2017年3月31日

証券コード: 5440

Spirit of Challenge



KYOEI STEEL

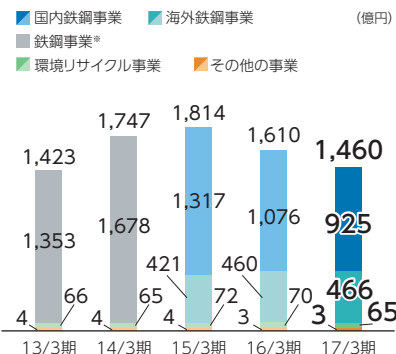
1947-2017

✦ 共英製鋼株式会社

売上高

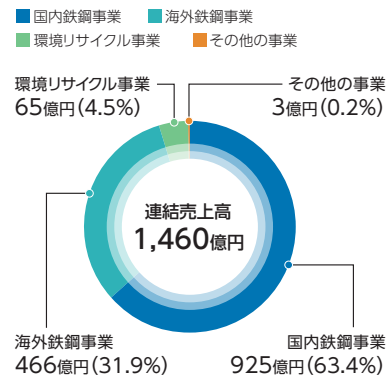
1,459億 9,100万円

前期比 9.3% 減



※当社グループは、2016年3月期より報告セグメントを変更（鉄鋼事業を国内・海外に分割）しております。ただし2014年3月期以前は、旧セグメント区分に基づいております。

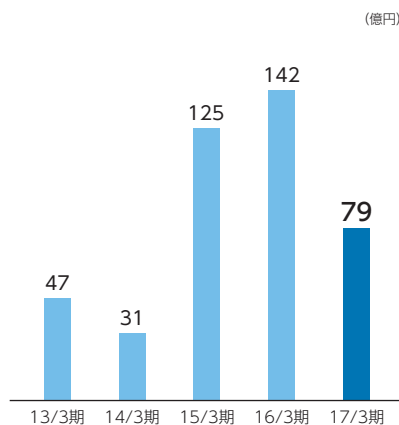
売上高構成



経常利益

79億 3,500万円

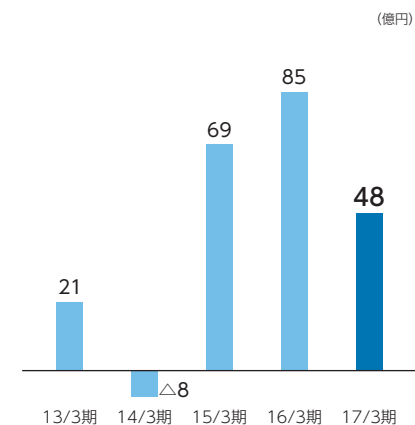
前期比 44.0% 減



親会社株主に帰属する当期純損益

47億 8,300万円

前期比 43.5% 減



POINT 1

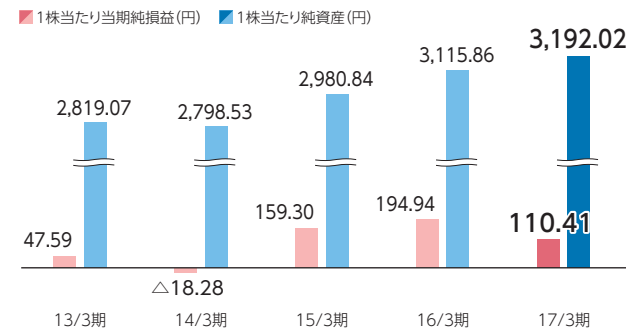
国内鉄鋼事業部門では、需要の盛り上がり欠ける中、製品価格の下落、大阪工場閉鎖による半製品の売上減などにより減収となりました。一方、原材料の鉄スクラップ価格は前期対比上昇したため、利益の源泉となるメタルスプレッド\*が大幅に縮小し、減益となりました。

\* 製品価格と原材料価格との売買価格差

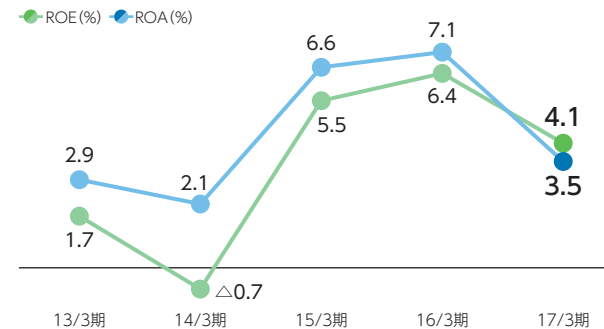
POINT 2

海外鉄鋼事業部門では、事業を展開するベトナム南部拠点の新ラインによる増産効果と、同国の堅調な鉄鋼需要を背景に、南北2社とも販売数量を伸ばし、増収増益となりました。

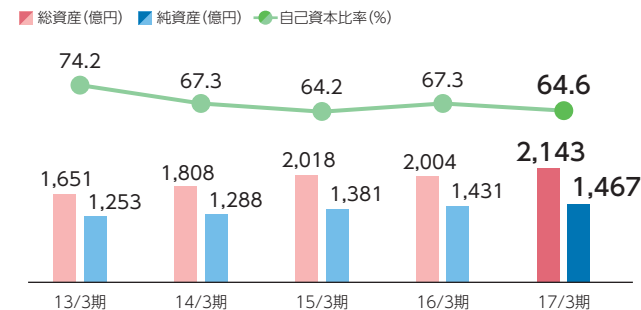
1株当たり当期純損益 (EPS) / 1株当たり純資産 (BPS)



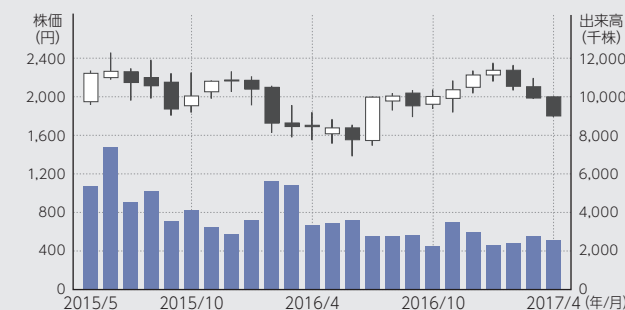
ROE / ROA



総資産 / 純資産 / 自己資本比率



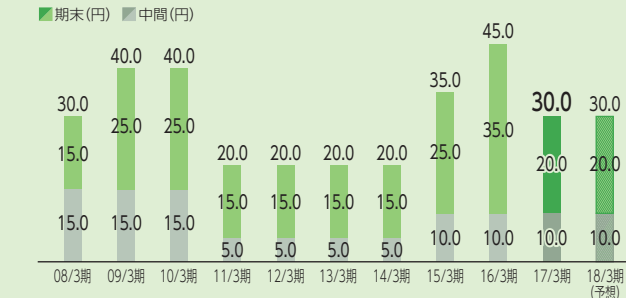
株価チャート



当期の配当および次期の配当予想について

当期の業績を踏まえ、期末配当は従来予想通り20円とし、既に実施した中間配当10円と合わせ、年間30円の配当を実施することといたしました。

次期の配当予想につきましては、業績予想が前期比減益となることから、当期と同額の中間10円、期末20円の年間30円を予想しております。





## おかげさまで共英製鋼は、 創立70周年を迎えます。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第73期(2016年4月1日から2017年3月31日まで)の業績につきまして、ご報告申し上げます。

当社グループの中核である国内鉄鋼事業は、鉄スクラップ価格の急騰により、売買価格差(製品価格と原材料価格の差額)が縮小し、苦戦を強いられました。

一方、ベトナムで展開する海外鉄鋼事業は、同国の堅調な鋼材需要を背景に、大きく業績を伸ばしました。

以上の結果により、当期連結業績は、売上高145,991百万円(前期比9.3%減)、営業利益7,971百万円(同42.2%減)、経常利益7,935百万円(同44.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益4,783百万円(同43.5%減)となりました。配当につきましては、期末配当を1株当たり20円とし、通期で30円とさせていただきます。

当社は本年12月、創立70周年という節目を迎えます。株主の皆様これまでのご支援に深く感謝いたしますとともに、今後とも引き続きご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 **森 光 廣**

### 第73期(2017年3月期)の業績について

#### 国内鉄鋼事業の減益を 海外鉄鋼事業の増益が一部カバー

国内鉄鋼事業の主要需要先である建設用鋼材市場では、国内の鋼材需要が盛り上がり欠ける中、春先および秋口にかけて原料である鉄スクラップの価格が急騰しました。特に11月以降は、アメリカ・中国など海外市況の影響を受け価格は高水準で推移しました。当社グループは製品価格の引き上げを図りましたが、契約価格が出荷価格に反映されるまでに一定の時間を要することから、売買価格差は大幅に縮小し、出荷量は前期よりも増えたものの利益面は前期を下回る結果となりました。

ベトナムを中心に事業を展開している海外鉄鋼事業につきましては、同国の旺盛な鉄鋼需要を背景に、グループ会社である南部拠点のビナ・キョウエイ・スチール(VKS)社、北部拠点のキョウエイ・スチール・ベトナム(KSVC)社ともに、生産・販売が好調に推移し、増収増益となりました。

環境リサイクル事業は、処理困難物案件の獲得に注力しましたが、大阪工場の閉鎖、処理設備のトラブルによる廃棄物処理量の減少等により、業績は売上・利益ともに前期を下回りました。

これらの結果、連結業績は減収減益となりましたが、国内事業の不調を海外事業がカバーし、当社グループの強みが発揮された形となりました。

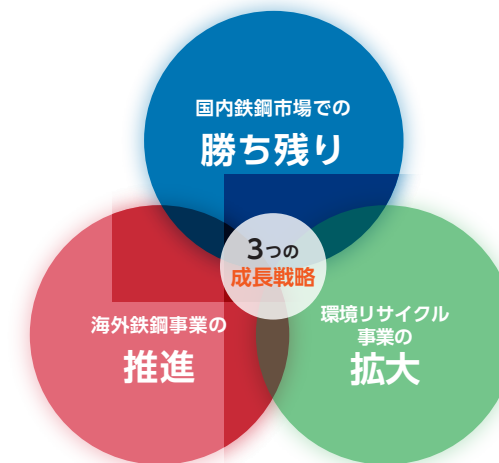
### 当期の取り組みとその成果について

#### ベトナムの経済成長を背景に VKS社・KSVC社の合計販売数量は 約100万トン記録

当社グループは「中長期経営ビジョン」において、「国内鉄鋼事業での勝ち残り」「海外鉄鋼事業の推進」「環境リサイクル事業の拡大」を「3つの成長戦略」として掲げ、さらなる成長を目指しております。

国内鉄鋼事業では、売買価格差縮小の影響を最小限に留めるべく、設備を含めた生産技術の向上に努め、継続的なコスト削減に取り組んでおります。その一つとして、各工場での電力原単位(製品1トンの生産に必要な電力量)の削減を推し進めており、当期においては、エネルギー費減少に大きく寄与しました。

海外鉄鋼事業につきましては、ベトナムのVKS社が新製鋼・圧延一貫ラインのフル生産体制を整えたこともあり、



VKS社・KSVC社の当期合計販売数量は約100万トンを記録し、両社ともに収益を伸ばすことができました。また、グローバルネットワークの拡大と事業のリスク分散を目的に、昨年12月、当社グループの米国持株会社 KYOEI STEEL America LLCを通じ、米国テキサス州のBD Vinton LLC(現ビントン・スチール社)の全持分を取得し、子会社化いたしました(P7 参照)。

これをもって当社グループの鉄鋼事業は、日本・ベトナム・米国の世界3極体制となり、来期以降の製品出荷量は、中長期経営ビジョンで目標に掲げている「国内外合計300万トン」が視野に入ってきました。

環境リサイクル事業では、競争力を高めるため、①グループ内の営業機能集約による効率化、②戦略的な資本・業務提携の推進、③コンプライアンス・安全管理体制の強化を目的として、下期にグループ内組織再編を実施いたしました。



# TOP MESSAGE

第74期(2018年3月期)の見通しについて

## 米国ビントン・スチール社の子会社化により売上高は大幅増収の1,830億円を見込む

国内鉄鋼事業は、建設用鋼材市場において東京五輪関連やインフラ整備など大型案件が期待されるものの、鋼材製品需要の回復は下期以降になると思われます。鉄スクラップ価格は、海外需要が堅調と見られることから、高水準で推移するものと見込んでおります。また、電力費などのエネルギーコストや副原料費の上昇により、製造コストの増加が懸念されますが、引き続き省電力操業による電力使用量の削減を中心にコスト削減に努めてまいります。

海外鉄鋼事業は、ベトナムの旺盛な需要環境を背景とした供給増に伴う競争の激化が予想されるものの、VKS社・KSVC社では販売数量増とコスト競争力強化により、増収増益を計画しております。米国においては、ビントン・スチール社の生産性向上を図り、収益の拡大を目指します。

環境リサイクル事業は、組織再編の効果を早期に発揮させ、新たな成長軌道の構築に努めてまいります。

グループ全体の業績見通しは、ビントン・スチール社が連結に加わるため、売上高が1,830億円と大幅増収となります。利益面は、国内における鉄スクラップ価格の高止まりと製造コスト上昇などにより、営業利益70億円、経常利益65億円、親会社株主に帰属する当期純利益40億円と当期対比減益を見込んでおります。

当社グループは、鉄鋼事業における世界3極体制の推進と環境リサイクル事業の拡大により、経営の安定化を図り、厳しい状況が予想される事業環境の中で、存在感のある電炉メーカーとして堅実な成長を目指します。



## もっと知りたい、共英製鋼 Vol.03 環境リサイクル事業



### なぜ環境リサイクル事業を始めたのですか？

“不法投棄の注射針によるHIV感染”の報道をきっかけに電気炉による無害化溶融処理の事業化に挑戦

1980年頃、海岸に不法投棄された注射針を踏んだ観光客がHIVに感染した、というニュースが報じられました。その報道を目にした山口事業所の社員が「数千度に達する電気炉の熱を使って溶かせば安全かつ完全に処理できる。そして注射針などの鉄分は、たとえわずかでも製品の材料になる」と発想したのが、環境リサイクル事業の始まりです。その頃、山口事業所は材料調達に苦労しており、また、鉄鋼事業以外の収益源を模索していたこともあり、電気炉による産業廃棄物処理への挑戦を始めました。課題を一つ一つ解決しながら地道に取り組む中で、地元自治体の後押しもあり、1988年、注射針や使用済みメスなどの医療廃棄物を処理する「メスキュード事業」としてスタートを切りました。今では信頼性の高い処理方法として認知され、多くのお客様の支持をいただいています。

メスキュード MESSCUDEとは	
Medical	(医療)
Scrapped material	(廃棄物)
Safety	(安全)
CUstody	(管理)
Dispose	(処理)



▲鉄スクラップとともに電気炉へ

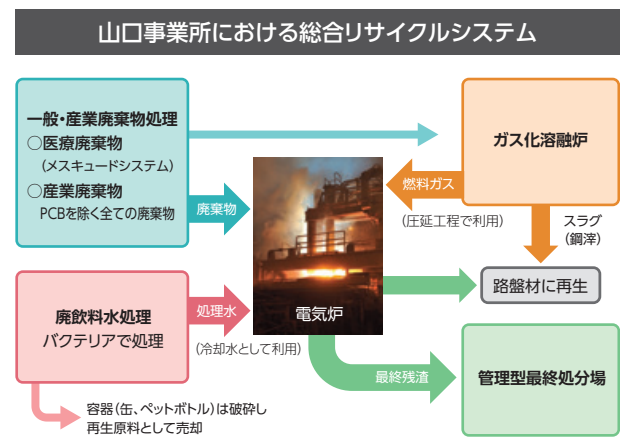


### 具体的にはどのような事業を展開しているのですか？

医療廃棄物から始まった事業は無害化溶融処理を中心に処理品目の拡大、グループ横展開へ

現在、医療廃棄物処理から始まった事業は、一般企業や自治体から排出される産業廃棄物の無害化溶融処理を中心に、処理の難しい新素材の廃棄物など、幅広い品目を手掛けています。廃棄物に含まれる鉄分以外の成分は熱源となって化石燃料の削減に寄与したり、スラグ(鋼滓)として路盤材などに再利用されたりしています。

事業発祥の地である山口事業所では、溶融処理のほか管理型最終処分場での埋立処理、賞味期限切れ飲料水をバクテリア分解する廃液処理(処理水は工場の冷却水として再利用)、ガス化溶融炉による自動車シュレッダダストやアスベストといった難処理廃棄物の処理など、多岐にわたる廃棄物処理を手掛けています。他の生産拠点(枚方、名古屋の各事業所および関東スチール)でも、許認可状況に応じて産業廃棄物処理を行っており、グループ会社の共英産業、共英メソナ、共英リサイクルでも、環境リサイクル事業を展開しています。

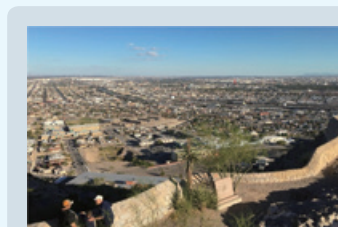


# FEATURE

## 米国に製造・販売拠点を取得、鉄鋼事業を開始しました。



ビントン・スチール社 (Vinton Steel LLC)



### 📍 ビントン[Vinton]

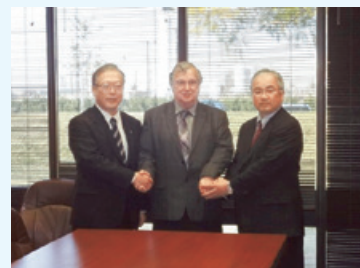
メキシコ国境から20マイル(約32km)に位置するテキサス州西部、エル・パソ郡の街。

当社は2016年12月、米国テキサス州で操業するBD Vinton LLCの全持分を、連結子会社のKyoei Steel America LLCを通じて取得し、当社グループの米国拠点「ビントン・スチール(Vinton Steel LLC)社」として子会社化しました。

ビントン・スチール社は、メキシコ国境近くのテキサス州で50年以上にわたり操業を続けてきた電炉メーカーであり、鉄筋コンクリート用棒鋼(異形棒鋼)と、鉱山で使用される鉱石粉碎用の鉄球を生産しています。

同社の所在するテキサス州は人口が全米で2番目に多く、また現在も人口増が続いていることから、今後も堅調な鉄鋼需要が期待できます。さらに、販売エリアであるカリフォルニア州も需要の伸びが期待できる地域であり、ビントン・スチール社の事業環境は恵まれているといえます。

今回の当社グループの米国進出は、1970年代、1990年代に続き3度目となります。先進国である米国の安定した需要を背景に、当社がこれまでに培った海外事業のノウハウを活かして、日本・ベトナム・米国の世界3極体制を推進します。



▲ 契約締結時の廣富副社長(左)と北田執行役員(右)

### ビントン・スチール社概要

所在地 | 米国テキサス州エル・パソ郡ビントン

設立年 | 1962年

生産品目 | 異形棒鋼、鉱山向け鉱石粉碎用鉄球

生産能力 | 製鋼25万t、圧延20万t(棒鋼)、鍛造5万t(鉄球)

代表者 | 社長:北田 正宏(共英製鋼(株)執行役員)

出資者及び出資比率 | KYOEI STEEL America LLC\* 100%

\*KYOEI STEEL America LLCは、当社が100%出資する米国での鉄鋼事業統括会社です。



▲ ビントン・スチール社を訪問した高島会長(中央)と森社長(左から2人目)

# TOPICS

## ベトナム南部でVKS社専用倉庫が完成

ベトナム南部で港湾事業を手掛けるチー・バイ・インターナショナル・ポート(TVP)社の敷地内に、2017年2月、ビナ・キョウエイ・スチール(VKS)社専用の原料倉庫が完成しました。2015年6月の製鋼工場稼働開始以来、フル生産に向け操業度を高めているVKS社では、自社内の倉庫だけでは鉄スクラップの保管量が十分ではなく、かねてよりTVP社敷地内で専用倉庫の建設が進められていました。この倉庫の完成により、自社内の原料倉庫と合わせおよそ1か月分の鉄スクラップの保管が可能となり、操業の安定性が高まります。

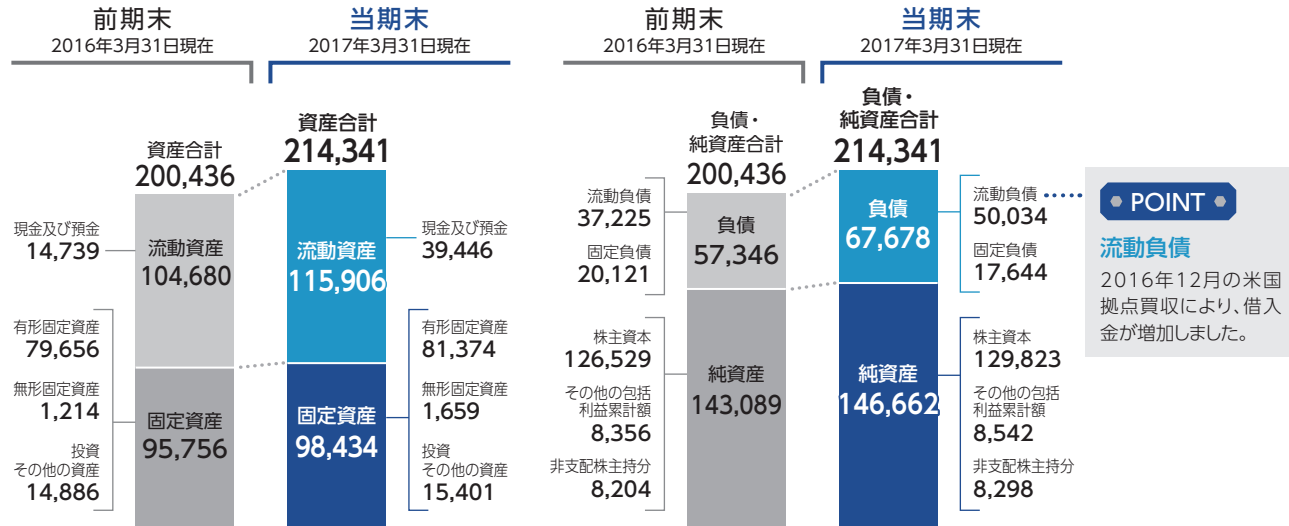
港湾設備の建設工事も順調に進んでいます。今年(2017年)秋には設備が完成し、同年12月に開港の予定です。

TVP社が位置するカイメップ・チーバイ地区は、今後ベトナム南部の経済発展を支える主要港湾になると期待されており、隣接する工業団地にはVKS社以外の鉄鋼メーカーも数多く操業しています。TVP社はVKS社の原材料輸入と製品出荷を軸に、将来は他社の貨物も取り扱い、収益を確保しつつベトナム南部の発展に貢献していきます。

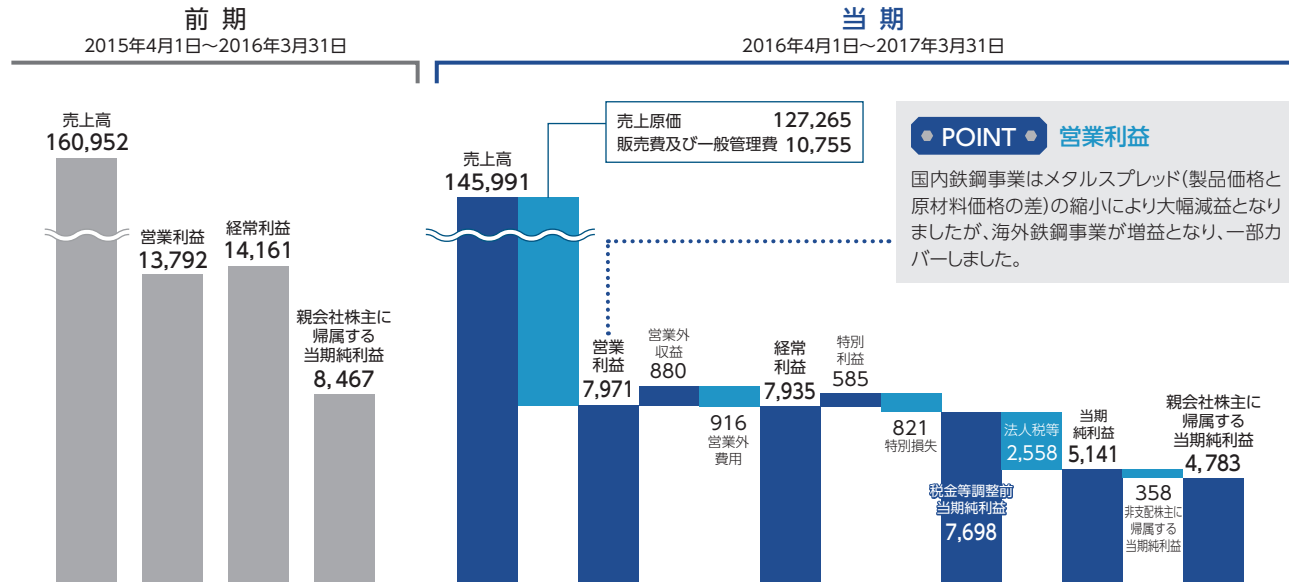


▲ 完成したVKS社専用倉庫

■ 連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



■ 連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



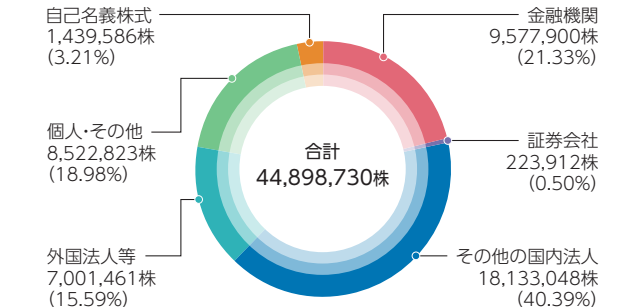
■ 株式の状況 (2017年3月31日現在)

発行可能株式総数 150,300,000株  
 発行済株式総数 44,898,730株  
 株主数 2,854名  
 大株主

株主名	持株数	持株比率 <sup>*1</sup>
新日鐵住金株式会社	11,592,932株	26.68%
高島 秀一郎	4,347,460	10.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・ エア・ウォーター株式会社退職給付信託) <sup>*3</sup>	2,600,400	5.98
高島 成光	2,233,000	5.14
三井物産株式会社	1,470,000	3.38
合同製鐵株式会社	1,347,000	3.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,089,900	2.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,074,200	2.47
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	977,700	2.25
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・ エア・ウォーター防災株式会社退職給付信託) <sup>*3</sup>	692,000	1.59

<sup>\*1</sup> 持株比率は、小数第3位以下を四捨五入して表示しています。  
<sup>\*2</sup> 持株比率は、自己株式(1,439,586株)を控除して計算しております。  
<sup>\*3</sup> エア・ウォーター株式会社および同社の100%連結子会社エア・ウォーター防災株式会社が保有する当社株式を退職給付信託に拠出したものであり、議決権については両社が各々指図権を有しています。

■ 所有者別株式分布状況 (2017年3月31日現在)



■ 会社概要 (2017年3月31日現在)

商号 共英製鋼株式会社  
 (KYOEI STEEL LTD.)  
 設立 1947(昭和22)年8月21日  
 資本金 185億16百万円  
 従業員数 2,341名(連結：正社員)  
 主な事業 (1) 鋼片、各種鋼材、鉄鋼製品の製造・加工・販売  
 (2) 一般・産業廃棄物、医療廃棄物の収集・運搬・処分業および自動車リサイクル事業ならびに廃棄物再生資源化事業  
 (3) 鉄筋・ネジ鉄筋加工と組立工事  
 (4) 鉄鋼製造プラントの設計および鉄鋼製造技術の販売  
 関係会社 関東スチール(株)  
 共英産業(株)  
 (株)共英メソナ  
 共英リサイクル(株)  
 共英加工販売(株)  
 ビナ・キョウエイ・スチール社  
 キョウエイ・スチール・ベトナム社  
 ビントン・スチール社  
 中山鋼業(株) 他

■ 役員 (2017年6月26日現在)

代表取締役会長	高島 秀一郎	常勤監査役	市原 修二
代表取締役社長	森 光廣	監査役(社外)	伊藤 洋
取締役・副社長執行役員	廣畠 靖以	監査役(社外)	小谷 明
取締役・専務執行役員	合六 直吉	執行役員	北田 正宏
取締役・専務執行役員	大田 和義	執行役員	川井 健司
取締役・常務執行役員	座古 俊昌	執行役員	川上 浩生
取締役・常務執行役員	平岩 治雄	執行役員	横山 政美
取締役・執行役員	石原 研二	執行役員	白石 愛明
取締役・執行役員	鳴海 修	執行役員	篠田 昭雄
取締役・執行役員	坂本 尚吾	執行役員	国丸 洋
取締役・執行役員	榎本 堅	相談役 名誉会長	高島 成光
取締役(社外)	新井 信彦		
取締役(社外)	山尾 哲也		

## ■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会	3月31日 (その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。)
期末配当	3月31日
中間配当を行う場合	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031
公告の方法	電子公告とします。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引市場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	5440

### 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

#### 株主優待の お知らせ

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式の投資魅力を高め、より多くの方々に当社株式を中長期的に保有していただくため、株主優待制度を実施しております。

保有株式数	優待品
100株以上1,000株未満	クオ・カード 1,000円分
1,000株以上	クオ・カード 2,000円分

## ✳ 共英製鋼株式会社

〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-16 アクア堂島西館18階

TEL 06(6346)5221(代表)

URL <http://www.kyoeisteel.co.jp/>

## 創立70周年記念 ロゴマークを制定しました。

当社は、本年12月に創立70周年を迎えることを記念し、70周年記念ロゴマークを制定しました。

基本となるデザインを当社グループ従業員とその家族を対象に募り、寄せられた約300点もの作品の中から、従業員投票などを経て、大きく上に伸びる3本の矢印を配した作品に決定しました。

この3本の矢印は、「今後の80年、90年、100年に向けた新たなスタートへの決意」を示すとともに、「当社グループの成長の3本柱(国内鉄鋼事業・海外鉄鋼事業・環境リサイクル事業)」を表しています。

Spirit of Challenge



**KYOEI STEEL**  
1947-2017

UD  
FONT